

《著者紹介》

柳 景子 (やなぎ・けいこ)

1985年 神奈川県生まれ。

2010年 中央大学大学院法学研究科民事法専攻博士前期課程修了。

2015年 早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程退学。博士（法学）。

現 在 福岡大学法学部准教授（民法）。

著 作 『民法入門〔第2版〕』共著，法律文化社，2021年。

『民法総則〔第2版〕』共著，法律文化社，2022年。

「アメリカの非良心性法理の判断構造——手続的非良心性の要件を中心に(1)・(2)(完)」

早稲田法学会誌 62(1) 2011年，62(2) 2012年。

「ジェンダー論，フェミニズム理論に基づく非良心性法理の分析——民法財産法分野へのジェンダー論，フェミニズム理論導入の可能性の検討」福岡大学法学論叢 66(1)，2021年。

「アメリカ消費者契約法リステイトメント起草の動向と非良心性法理の現在——日本の不当条項規制の一考察として」『後藤卷則先生古稀記念論集』弘文堂，2022年。